

# 第84回埼玉県内企業経営動向調査 —2013年7～9月期—

**調査対象：** 県内企業575社  
**調査方法：** アンケート方式（8月上旬郵送回収）  
**回答企業：** 294社（回答率51.1%）  
**業種別内訳：** 製造業171社 非製造業123社  
**調査分析方法：** BSI方式 各設問に対して、**良い・増加・過大**と回答する割合から**悪い・減少・不足**と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート（円/ドル）	日経平均株価（円）
（前回）2013年5月16日	102.15	15,037.24
（今回）2013年8月16日	97.55	13,650.11

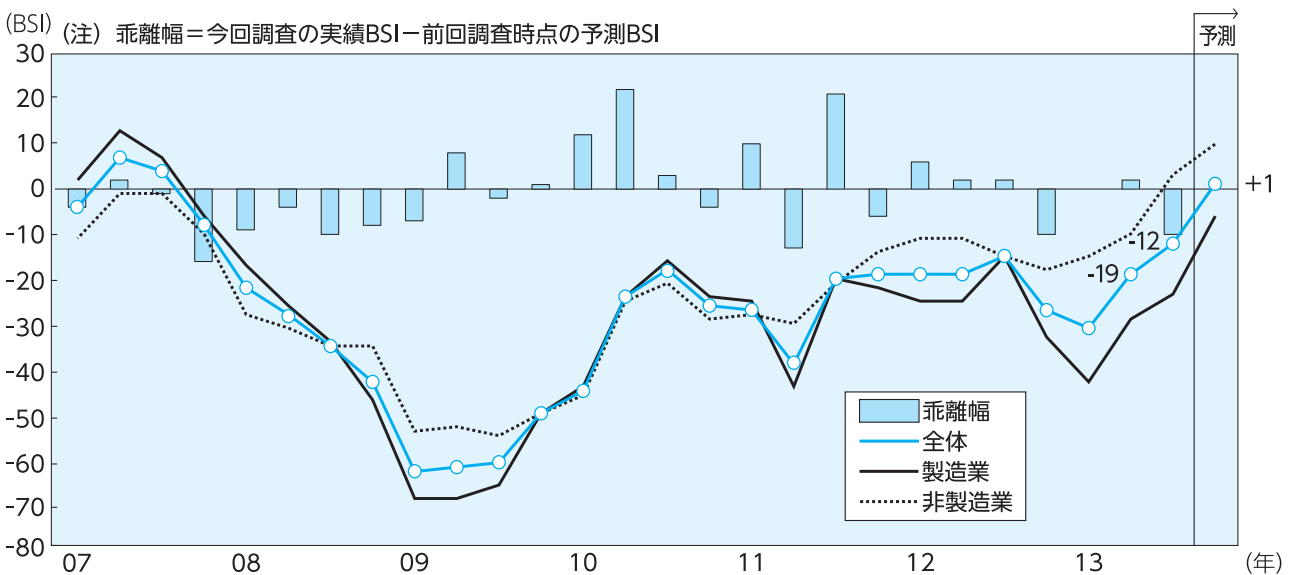
## 概況

県内企業の業況感は着実に持ち直してきている。今回（2013年7～9月期）の業況判断 BSI は-12と、前回（4～6月期）に比べ7ポイント上昇、2四半期連続で改善している。今回集計結果を規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員100人未満）、「規模の大きい企業」（従業員100人以上）ともに、持ち直しが続いている。

業種別にみると、製造業は、加工組立型では、円高是正の動き等による好調な受注を背景に、一般機械や電子部品・デバイスを中心に持ち直している。また素材型も原材料価格の上昇が懸念されるものの、化学・プラスチック・ゴム製品や木材関連を中心に持ち直している。非製造業は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などを背景に住宅関連中心に回復し、2003年10～12月期以来ほぼ10年ぶりにプラスに転じた。

先行き（10～12月期）の業況判断 BSI は+1と改善が進む見通しとなっている。業種別にみると、製造業は、加工組立型の一般機械器具、精密機械が海外需要の増加や設備投資回復への期待から、また、素材型が公共工事や住宅関連業種の需要増加から持ち直す見通しとなっている。非製造業は、一般建設、住宅建設などで、回復が続く見通しとなっている。

図表1 業況 BSI の推移



## ▶▶業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) …着実に持ち直し

業況感は着実に持ち直してきている。今回調査の業況判断 BSI は、-19→-12 (前回→今回、以下同じ。) と7ポイント上昇、2四半期連続で改善している。

規模別にみると、「規模の小さい企業」、「規模の大きい企業」とともに、持ち直しが続いている。

業種別にみると、製造業は、加工組立型では、円高是正の動き等による好調な受注を背景に、一般機械や電子部品・デバイスを中心に持ち直している。また素材型も原材料価格の上昇が懸念されるものの、化学・プラスチック・ゴム製品や木材関連を中心に持ち直している。非製造業は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などを背景に住宅関連中心に回復し、2003年10～12月期以来ほぼ10年ぶりにプラスに転じた。

図表2 規模別・業種別業況判断 BSI

	2012年				2013年				2013年 10～12月 (先行き)
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	前回予想	
全 体	-19	-19	-15	-27	-31	-19	-12	-2	1
100 人 未 満	-30	-29	-19	-30	-31	-26	-16	-10	-3
100 人 以 上	-8	-8	-10	-23	-32	-11	-8	6	4
製 造 業	-25	-25	-15	-33	-43	-29	-23	-10	-6
100 人 未 満	-30	-36	-14	-33	-36	-32	-24	-15	-8
100 人 以 上	-19	-12	-15	-32	-52	-26	-21	-5	-4
素 材 型	-17	-20	-4	-31	-32	-26	-21	-6	1
紙 加 工 品 等	-42	-18	-23	-31	-25	-8	-23	8	-8
化学・石油製品・プラスチック・ゴム製品	-15	-31	-23	-42	-54	-38	-23	-6	15
鉄 鋼 ・ 非 鉄 金 属	-40	-17	-14	-50	-36	-38	-40	-8	-30
金 属 製 品	8	-25	33	-17	-25	-29	-17	0	25
そ の 他 素 材 型	-6	-12	5	-11	-18	-18	-11	-18	0
加 工 組 立 型	-27	-27	-22	-35	-54	-32	-19	-10	-4
一 般 機 械 器 具	-11	-41	-22	-30	-50	-24	-10	-14	10
電気・情報通信機械器具	-62	-69	-38	-33	-50	-25	-42	0	-33
電子部品・デバイス	-38	-31	-25	-25	-75	-54	-9	8	0
輸 送 用 機 械	8	17	-8	-38	-62	-42	-31	-42	-25
精 密 機 械	-36	-6	-17	-55	-33	-23	-7	0	14
生 活 関 連 型	-38	-33	-30	-25	-44	-26	-36	-26	-29
飲 ・ 食 料 品	-25	-31	-8	-8	-54	-45	-31	-36	-31
印 刷 ・ 同 関 連 業	-50	-36	-55	-42	-33	-8	-42	-17	-27
そ の 他 製 造 業	-33	-14	0	-50	-33	-33	-33	-17	-17
非 製 造 業	-11	-11	-15	-18	-15	-4	3	10	10
100 人 未 満	-29	-19	-27	-27	-24	-18	-4	-2	6
100 人 以 上	7	-3	-3	-9	-7	8	8	21	14
一 般 建 設	-32	-19	-47	-26	-21	-16	-10	-11	5
住 宅 建 設	-11	0	0	7	-17	33	13	53	53
卸 売	-5	-12	-26	-18	-16	-15	11	0	-11
小 売	4	-11	-5	-39	-12	-25	-19	-14	-15
運 輸 ・ 倉 庫	-27	-13	0	-8	-21	8	-8	18	8
不 動 産	-8	-8	-31	-25	-45	-15	23	23	25
そ の 他 非 製 造 業	-11	-7	11	-6	11	18	15	24	20

## ▶2▶売上(生産)高 BSI (「増加」－「減少」) …非製造業中心に回復

製造業では、販売(受注)数量の回復から、素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型の電気・情報通信機械器具、電子部品・デバイスがプラスと回復している。非製造業は小売、不動産、その他非製造業などがプラスとなっている。先行きは、製造業は素材型や加工組立型で増加傾向が強まり、非製造業は住宅建設、卸売、不動産などほとんどの業種でプラスの見通しとなっている。

図表3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 13年1～3月期	(前回調査) 13年4～6月期	(今回調査) 13年7～9月期	(先行き) 13年10～12月期
全 体	-24	-5	7	21
製 造 業	-38	-5	1	17
非 製 造 業	-5	-5	16	26
規模の小さい企業	-24	-12	-5	16
規模の大きい企業	-23	3	19	25

## ▶3▶経常利益 BSI (「増加」－「減少」) …非製造業でプラスに転化

製造業は、素材型の金属製品や加工組立型の電子部品・デバイスがプラスになるなど、持ち直している。非製造業では小売などがプラスに転じている。先行きは、製造業で、素材型や加工組立型がプラスに転じ、非製造業で、住宅建設、不動産などがプラスの見通しとなっている。

図表4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 13年1～3月期	(前回調査) 13年4～6月期	(今回調査) 13年7～9月期	(先行き) 13年10～12月期
全 体	-25	-15	-3	14
製 造 業	-33	-16	-8	15
非 製 造 業	-14	-13	3	13
規模の小さい企業	-28	-22	-10	13
規模の大きい企業	-21	-8	3	15

## ▶4▶海外需要 BSI (「増加」－「減少」) …緩やかな回復

製造業は、加工組立型を中心にプラスとなっている。先行きは加工組立型で海外需要が増加する見通しとなっている。

図表5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 13年1～3月期	(前回調査) 13年4～6月期	(今回調査) 13年7～9月期	(先行き) 13年10～12月期
全 体	-6	6	10	9
製 造 業	-9	9	11	11
非 製 造 業	2	0	5	5
規模の小さい企業	-6	4	2	4
規模の大きい企業	-5	8	16	15

## ▶5▶生産(販売)設備 BSI (「過剰」－「不足」) …製造業で過剰、非製造業では不足

製造業では加工組立型を中心に過剰感が薄らいでいる。非製造業では、住宅建設や小売が不足に転じている。

図表6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 13年1～3月期	(前回調査) 13年4～6月期	(今回調査) 13年7～9月期	(先行き) 13年10～12月期
全 体	4	5	1	-1
製 造 業	11	11	7	4
非 製 造 業	-7	-4	-8	-9
規模の小さい企業	5	4	3	0
規模の大きい企業	2	6	-1	-2

## ▶6▶雇用人員 BSI (「過剰」－「不足」) …非製造業で不足感強まる

製造業では素材型や加工組立型で過剰感が薄れているが、生活関連型で強まっている。一方、非製造業では一般建設、運輸・倉庫、不動産などほとんどの業種で不足感が強まっている。

図表7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 13年1～3月期	(前回調査) 13年4～6月期	(今回調査) 13年7～9月期	(先行き) 13年10～12月期
全 体	-7	2	-1	-7
製 造 業	7	13	14	7
非 製 造 業	-26	-12	-23	-29
規模の小さい企業	-2	1	1	-5
規模の大きい企業	-12	4	-2	-9

## ▶7▶資金繰り BSI (「楽」－「苦」) …非製造業で後退

製造業は加工組立型や生活関連で厳しさがみられるが、素材型で改善している。非製造業は一般建設、運輸・倉庫などで厳しさがみられる。

図表8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 13年1～3月期	(前回調査) 13年4～6月期	(今回調査) 13年7～9月期	(先行き) 13年10～12月期
全 体	-1	3	1	1
製 造 業	-4	-1	0	0
非 製 造 業	3	8	2	2
規模の小さい企業	-8	-6	-7	-8
規模の大きい企業	6	11	9	9